都立東 高等学校 令和6年度

教科

国語

科目

言語文化

教科： 国語

科目：

言語文化

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1組～ 7組

教科担当者：（ 1組： ） （ 2組： ） （ 3組： ） （ 4組： ） （ 5組： ）
 （ 6組： ） （ 7組： ）

使用教科書：（ 東京書籍『精選 言語文化』 ）

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> （読むこと）文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いや品詞等の文語文をきまりを理解し、説話の内容や登場人物の心情を捉え、説話の面白さを理解する。 <p>・教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> 『宇治拾遺物語』 「兒子のそら寝」 『十訓抄』 「大江山の歌」 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 <p>【思考・判断力・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「書くこと」において、自分の考えが効果的に伝わるよう構成、語句、表現の仕方を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し、学習課題に沿って登場人物の言動や和歌の内容を読み取ろうとしている。 	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を養う。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 訓読に関する基本的なルールを理解し、文章の内容や登場人物の心情を本文をもとに理解する。 2 格言、故事成語を適切にその背景や意味を踏まえて適切に用いる。 <p>・教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> 訓読の基本、故事成語「推敲」「助長」 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 <p>【思考・判断力・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「書くこと」において、自分の考えが効果的に伝わるよう構成、語句、表現の仕方を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで訓読のきまりや古典特有の表現について理解し、学習課題に沿って登場人物の言動や言葉の内容を読み取ろうとしている。 	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	

	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。 近代文学作家を調べて得た情報を的確に整理して、人物像が伝わる解説文を作る。 <p>・教材等</p> <p>芥川龍之介「羅生門」</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考・判断力・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 「書くこと」において、考えが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。 進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わる解説文を作ろうとしている。 			9	
定期考査				○	○		1
2 学 期	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。 <p>・教材等</p> <p>『徒然草』 「丹波に出雲といふ所あり」 「ある人、弓射ることを習ふに」</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 <p>【思考・判断力・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「書くこと」において、自分の考えが効果的に伝わるよう構成、語句、表現の仕方を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し、学習課題に沿って登場人物の言動や和歌の内容を読み取ろうとしている。 			9	
定期考査		<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 <p>・教材等</p> <p>『伊勢物語』 「芥川」</p> <p>『古今和歌集』 『新古今和歌集』</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 <p>【思考・判断力・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 「書くこと」において、自分の考えが効果的に伝わるよう、構成、語句、表現の仕方を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し、学習課題に沿って登場人物の言動や和歌の内容を読み取ろうとしている。 	○	○	○	16
定期考査				○	○		1

3 学 期	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 1 表現の特色を踏まえて、作品に込められた意図を考える。 <p>・教材等 紀貫之『土佐日記』 「馬のはなむけ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 1 話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考える。 <p>・教材等 漢文「寓話」 「借虎威」</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 <p>【思考・判断力・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「書くこと」において、自分の考えが効果的に伝わるよう構成、語句、表現の仕方を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し、学習課題に沿って登場人物の言動や和歌の内容を読み取ろうとしている。 	○	○	○	14
	定期考査				○	○	